

# 「いのちはいくつ？」

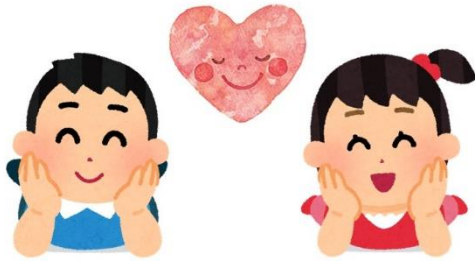


命についての保健指導を行いました。昨年の命の指導を覚えている幼児も多く、「命のはじまりはすごく小さいんだよね！」と命のイメージを伝えてくれました。

今回は、オタマジャクシの命をテーマにして、命は一つしかない、かけがえのないものなのだ、ということを伝えています。「死んだオタマジャクシはカエルにはなれない」という事実は、幼児にとって衝撃的なことで、その話をしているときは、シーンと静まり返って聞いていました。一つしかない、かけがえのない命の大切さを感じてくれたと思います。

## <今回の保健指導のポイント>

みんなが かならず  
ひとつだけ もっているもの。



それは **いのち**。

おたまじゃくしは たくさんいるから



いのちが ひとつくらい  
なくなってもいい？

おたまじゃくしは しんでしまったら…



もう かえるには なれない。

どんなにかえるにいたかったとしても  
かえるにはなれない。



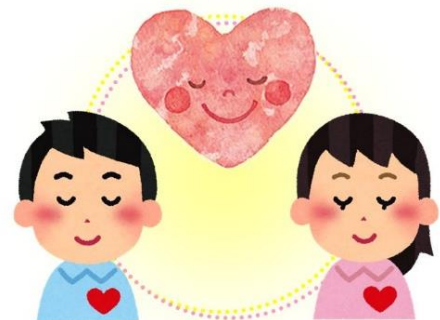
しんでしまうということは そういうこと。

だから



**いのちを たいせつにしてほしい。**

たったひとつの たいせつないのちを



**ずっとたいせつにできるひとでいてください。**